18 陳情 第 9 号	「多文化」という熟語は造語である。よって「多文化」を「異文化」という熟語に変更せよという陳情
付託委員会	総務区民委員会
受理及び付託 年 月 日	平成18年2月16日受理、平成18年2月27日付託
陳情者	東京都新宿区住吉町_____

(要 旨)

「多文化」という熟語は造語である。よって「多文化」を「異文化」という熟語に変更せよ。

(理 由)

新宿区には「多文化」という熟語を使った施設がある。行政の人間が勝手に日本語を作ってもいいのか疑問に思うのは当然の帰結である。「日本語教室」を作る前に新宿区の区長はじめ従業員が、まず、日本語を勉強すべきである。何の疑問も持たず造語を使う行政は日本人の恥である。

区長は日本語を勉強して欲しい。韓国人、中国人等外国人に日本語を教えようとしている行政の人間が日本語をしっかり使えない。これは悲しい現実であり、こういう区長はじめ行政の人間が教育を論ずることは甚だ理不尽である。

「協働」という言葉の区長の解釈も間違っている。

区長。日本語を勉強しなさい。これは、日本国民であり、東京都民であり、新宿区民である私の要求である。